

今日のキーワード 労働市場の「スラック(需給の緩み)」(米国)

労働市場の「スラック(需給の緩み)」とは、働く意思や能力があるにもかかわらず仕事が見つからない人が非常に多い状態、すなわち未活用の労働力が存在する状態のことです。米連邦準備制度理事会(FRB)のイエレン議長は、米国の労働市場には依然として「スラック」が残っており、失業率の低下が示すほど雇用は改善していないと考えています。

ポイント1 「スラック」が存在する4つの具体例 パートタイマーの多さや、賃金の伸び悩みなど

- イエレン議長は2014年3月31日の講演で、「スラック」が存在する具体例として、①700万人以上がパートタイマーとして働いていること、②失業率の改善が賃金上昇につながっていないこと、③6カ月以上の長期失業者比率が高いこと、④労働参加率が低下していることを挙げました。
- 2014年2月と2015年4月の雇用統計を比較すると、パートタイマーは720万人から658万人へ減少し、6カ月以上の長期失業者比率は36.8%から29.0%へ低下しましたが、ともに金融危機前の水準には回復していません。また賃金の伸びや労働参加率については目立った改善がみられていません。

ポイント2 依然「スラック」は残っているとの見解 イエレン議長は労働市場に慎重な見方を維持

- イエレン議長は2015年5月22日の講演で、良い職を得る機会が不足しているために求職活動を行っていない人が極めて多く、またパートタイマーも異常に多いと述べ、米国の労働市場には依然として「スラック」が残っているとの見解を示しました。
- さらに、失望するほど低い賃金の伸びは労働市場の完全な回復を示唆していないとして、労働市場に対し、慎重な見方を維持しました。



【「スラック」を見る指標】

	2014年2月	2015年4月
経済的理由によるパートタイマー	720万人	658万人
時給の前年比伸び率	2.1%	2.2%
6カ月以上の長期失業者比率	36.8%	29.0%
労働参加率	63.0%	62.8%

注:経済的理由によるパートタイマーは、フルタイム職が見つからないために不本意ながらパートタイム職に就いている者。労働参加率は、労働力人口(就業者+失業者)を生産年齢人口(軍隊従事者、施設収容者を除く16歳以上の総人口)で割ったもの。
出所:Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 「スラック」が完全に解消する前に利上げが行われる可能性も

■金融引き締めを遅らせた場合のリスクを指摘

労働市場に関するこのような見解を踏まえると、「スラック」が残る間は賃金面からのインフレ圧力は限定的であるため、利上げは相当先になるように思われます。しかしながらイエレン議長は同講演で、「失業率や物価が目標に達するまで金融引き締めを遅らせると、景気過熱のリスクにつながりかねない」と指摘しています。

■早ければ9月のFOMCで利上げ決定も

またイエレン議長は、「金融政策の決定から実体経済にその効果が表れるまで著しい時間差があるため、将来を見据えて政策決定をしなければならない」と主張しています。そのため「スラック」が完全に解消する前に利上げが行われる可能性があり、早ければ9月の米連邦公開市場委員会(FOMC)で決定されると思われます。

ここも
チェック! 2015年05月22日 「FOMCメンバー」の顔ぶれ(米国)
2015年05月11日 米国の雇用統計(2015年4月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。